

# 授業科目 整形外科理学療法学

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	理学
相馬 俊雄、江玉 睦明		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	4	時間数	90
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○	◎	
【概要・一般目標：G10】 整形外科疾患に対する理学療法を実施するために、病態・障害の回復過程について理解する。また、整形外科疾患における理学療法評価、治療技術、リスク管理、予防について習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 整形外科疾患の病態・障害の回復過程について説明することができる。					
2. 整形外科疾患の回復時期に対応した評価を挙げて選択できる。					
3. 整形外科疾患の回復時期に対応した評価を計画して実施できる。					
4. 整形外科疾患の回復過程に対応した治療技術を挙げて選択できる。					
5. 整形外科疾患の回復過程に対応した治療技術を計画して実施できる。					
6. 整形外科疾患におけるリスク管理や予防について説明することができる。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1・2	整形外科疾患の病態・障害の回復過程	1・6	講義、担当：相馬 俊雄		
3・4	高齢者の身体機能と疾患、リスク管理、予防	1・6	講義、担当：相馬 俊雄		
5・6	運動療法（関節可動域運動、ストレッチ、筋力トレーニングなど）の理論	2～5	講義、担当：相馬 俊雄		
7・8	股関節疾患における評価と治療	2～5	講義、担当：相馬 俊雄		
9・10	膝関節疾患における評価と治療	2～5	講義、担当：相馬 俊雄		
11・12	足関節疾患における評価と治療	2～5	講義、担当：相馬 俊雄		
13・14	肩関節疾患における評価と治療	2～5	講義、担当：江玉 睦明		
15	脊柱疾患における評価と治療	2～5	講義、担当：江玉 睦明		
16・17	整形外科疾患における運動療法	1～6	演習：オリエンテーション（授業内容、授業評価の説明）、四肢関節の動かし方、担当：相馬 俊雄		
18・19	整形外科疾患における評価 1	2・3	演習：触診（下肢の筋、骨のランドマーク）、担当：相馬 俊雄		
20・21	整形外科疾患における評価 2	2・3	演習：姿勢分析、動作分析、担当：相馬 俊雄		
22・23	股関節疾患の検査・評価	2・3	演習：膝関節疾患の検査・評価、問題点抽出、治療プログラム立案、担当：相馬 俊雄		
24・25	膝関節疾患の検査・評価	2・3	演習：股関節疾患の検査・評価、問題点抽出、治療プログラム立案、担当：相馬 俊雄		
26・27	足関節疾患の検査・評価	2・3	演習：足関節疾患の検査・評価、問題点抽出、治療プログラム立案、担当：相馬 俊雄		
28・29	整形外科疾患における運動療法 1	4・5	演習：下肢関節の関節可動域運動、担当：相馬 俊雄		
30・31	整形外科疾患における運動療法 2	4・5	演習：下肢筋に対するストレッチ、担当：相馬 俊雄		
32・33	整形外科疾患における運動療法 3	4・5	演習：下肢筋に対する筋力トレーニング、担当：相馬 俊雄		
34・35	整形外科疾患における運動療法 4	4・5	演習：運動療法（バランストレーニング、自主トレーニングを含む）、担当：相馬 俊雄		
36・37	整形外科疾患の急性期におけるリスク管理	6	演習：整形外科疾患の術前・術後におけるリスク管理、担当：相馬 俊雄		
38・39	肩関節疾患における評価	2・3	演習：肩関節疾患の評価、問題点抽出、治療プログラム立案、担当：江玉 睦明		
40・41	肩関節疾患における治療技術	4・5	演習：肩関節疾患の治療手技、運動療法、担当：江玉 睦明		
42・43	脊柱疾患における評価	2・3	演習：脊柱疾患の評価（姿勢分析）、問題点抽出、治療プログラム立案、担当：江玉 睦明		
44・45	脊柱疾患における治療技術	4・5	演習：脊柱疾患の治療手技、運動療法、担当：江玉 睦明		
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書	運動器リハビリテーション機能評価 1	監訳 陶山哲夫	エルゼビア・ジャパン	10,000円＋税	
	運動器リハビリテーション機能評価 2	監訳 陶山哲夫	エルゼビア・ジャパン	10,000円＋税	
	整形外科における理学療法	メヒトヒルト・デルケ	ガイアブックス	2014・6,800円＋税	
その他の資料	講義・演習時に配布する				
【評価方法】 出欠、筆記試験・実技試験 *筆記試験、実技試験において、相馬、江玉のどちらも合格基準を満たさなければ不合格とする。		【履修上の留意点】 ・演習時は、白衣（ケージー）着用すること。 ・白衣（ケージー）の下には、短パン、Tシャツを着用すること。			